

授業科目 比較芸術研究特論	単位 2単位
授業担当者	授業期間 休講
授業の題目と概要 「日本の民俗芸能の歴史的展開と多様性」 日本列島では、各地に多くの芸能が伝わり、現在も専門的な演者や地域社会の人々によって演じ続けられているが、本講義では、日本列島各地において、様々な歴史的・地域的な影響の下に、創始・伝播・受容が行われてきた民俗的な諸芸能の特徴の理解を試みる。同時に、それらが現代まで伝承されてきたことの今日的意義についても考える。	
授業の内容と計画 本講義では、日本の民俗芸能を巡る様々な状況と、日本以外の諸地域の芸能との比較を可能な限り試み、より一般的な芸能の理解を目指したい。また、日本の民俗学における民俗芸能研究の方法や視角の日本以外の芸能に対する有効性についても検証する。 講義の主な内容は次の通りである。 <ul style="list-style-type: none"> ・政治権力と芸能。国家の政治権力と芸能の受容・定着 ・宗教と芸能。諸宗教教団の儀礼空間と芸能上演 ・民衆的美意識と芸能。 ・専門芸能者の活動と芸能の伝播・定着 ・近代と芸能。明治政府の風俗改良政策と民間の芸能の葛藤 ・芸能の「保存」と「伝承」。民俗芸能の文化財保護・指定政策の有効性と限界 	
使用する参考書、参考論文等 柳田國男 1969 『定本柳田國男集 第10巻』筑摩書房 折口信夫 1991 『日本芸能史六講』講談社 笹原亮二 2003 『三匹獅子舞の研究』思文閣出版 その他、適宜、授業において指示する。	
成績評価基準 授業の際の議論の内容によって、評価を行う。	
その他の留意事項	